

若年ひとり親家庭等支援事業の業務委託契約に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

若年ひとり親家庭等支援事業業務委託

契約期間 令和8年6月1日から令和9年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

特定非営利活動法人Deep People

3 公募期間

令和8年3月9日（月曜日）から令和8年4月24日（金曜日）まで

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
岩崎 久志	流通科学大学人間社会学部 教授
遠藤 和佳子	関西福祉科学大学 社会福祉学部 福祉創造学科 教授
家加 真知子	特定非営利活動法人大阪NPOセンター 事務局職員

(2) 選定委員会の開催日

令和8年5月11日（月曜日）

(3) 審査基準

審査項目	主な審査内容	配点
専門性	事業趣旨の理解	25点
	類似事業実績	
実効性	具体的方法の明示	50点
	交流事業の工夫	
	周知方法の有効性	
現実性	事業実施体制の確保	25点
	積算の妥当性	
合 計		100点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

特定非営利活動法人Deep People

全1者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）

審査項目	点数
専門性	60点
実効性	116点
現実性	55点
合 計	231点

当該業務委託については、以下の理由により事業の実施、個人情報の管理も含めて実現可能な提案が評価できたため、委託予定事業者を選定した。

【選定理由】

- ・ 交流事業や広報周知等の内容について、昨年度の実績を踏まえた具体的な提案があり、また積算についても妥当性があった。

【附帯意見】

- ・ 事業趣旨を踏まえ、より効果的な事業実施となるよう、交流事業の前倒しを検討するなど、実施時期や準備期間を含めたスケジュールの見直しを図られたい。
- ・ 参加者からの相談に適切に対応できるよう、相談体制の充実及びバックアップ体制の整備が望まれる。
- ・ 対象となる若年ひとり親に情報が届くよう、周知方法の工夫・強化を行い、より多くの対象者との接点の拡大を図ることが望まれる。
- ・ SNSの利用状況等も踏まえ、ひとり親同士がつながりやすい仕組みや参加に至る導線の工夫を検討することが望まれる。
- ・ 大阪市と十分に調整を図った上で、より効果的な事業実施につなげることが望まれる。